

平成20年9月25日
海の幸に感謝する会
(社)大日本水産会

「食料安全保障と持続的漁業の貢献シンポジウム」開催のお知らせ

— FAO 国連食料農業機関 野村水産養殖局長講演 —

燃油高騰、後継者不足、消費者の魚離れと日本の水産業にとっては厳しい経営環境が続いておりますが、他方、増大し続ける世界の人口に対し、十分な食料を確保するため持続的な漁業の貢献が求められております。このような漁業を取り巻く情勢の中、(社)大日本水産会と海の幸に感謝する会が、日本の漁業の果たす役割について少しでも多くの方々にご理解いただくために、10月20日(月)に「食料安全保障と持続的漁業の貢献シンポジウム」を開催することとなりました。

シンポジウムでは、「食料安全保障のための漁業の貢献・期待される日本の役割(仮題)」というテーマで日本の漁業が貢献しうるものについて、国連食糧農業機関(FAO)の野村一郎水産養殖局長よりグローバルな視点でお話いただく予定です。また、持続的な漁業の推進という観点から、日本発のマリーンエコラベルの普及を進めているMELジャパンの活動を報告し、その後「日本人にとって漁業とは」というテーマで、生産、流通、消費、行政、研究の分野の有識者による討論を予定しております。シンポジウムの概要につきましては、下記の通りになりますので、是非ご参加ください。

150名で締め切らせていただきますので、お早めに下記のお申し込み先まで、ご連絡いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

「食料安全保障と持続的漁業の貢献シンポジウム」概要 (主催：海の幸に感謝する会・(社)大日本水産会)

1. 日 時：2008年10月20日(月) 14:00～16:30
2. 場 所：全日本海員組合本部 地下講堂 (港区六本木7-15-26)
TEL：03-5410-8323 <http://www.jsu.or.jp>
(地下鉄「六本木駅」2番出口徒歩1分 麻布警察署前)
3. シンポジウム
講演：1) 食料安全保障のための漁業の貢献・期待される日本の役割(仮題)
FAO 野村 一郎水産養殖局長
2) MELジャパンの目指すもの MELジャパン事務局
—休憩—
討論：日本人にとって漁業とは
司会 梅崎義人 水産ジャーナリストの会会長
パネリスト 生産、流通、消費、行政、研究 代表各1名

参加お申し込み先：海の幸に感謝する会事務局 担当：久保
TEL：03-5547-1942 FAX：03-5547-1941
E-mail：kubo@kyodo-senpaku.co.jp